

# B U S I N E S S R E P O R T



私 たち は い つ も 開 拓 者。



私たちは、新鮮で驚きのある 素材開発に挑み続ける。

私たちは、快適で心豊かな生活づくりに挑み続ける。

そして、世界に冠たる『ファブリックメーカー』に必ずなる。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げますと共に、ここに小松精練株式会社の第95期（平成18年4月1日から19年3月31日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、設備投資の増加を背景とした企業収益の拡大や雇用環境の改善及び所得の緩やかな増加などにより、個人消費が回復するなど総じて拡大基調で推移いたしました。

繊維業界におきましては、前年より続く原油価格の高止まりが燃料や原材料価格の大幅な高騰につながり、「川上・川中インフレ」を招き、一方、過剰な売場面積や、依然として続く廉価海外品の輸入、更には天候不順による国内衣料消費の不振などに起因する「川下デフレ」により、収益構造が圧迫されるなど厳しい環境の下で推移いたしました。

このような背景の中、当社グループといましては、「世界に冠たるファブリックメーカー」を目指し、優れた繊維素材の創造と提案を通じて、人々の豊かな生活に貢献すべく先端技術の開発や国内外の新規

市場開拓に努め、同時に工程・薬剤の革新による原価低減への挑戦及び地球環境保全対応を積極的に進めてまいりました。

中核事業である繊維事業におきましては、“第2世代・ビンテージ織意”等の開発に加え、当社関連会社である中国の小松精練（蘇州）有限公司との戦略的連携の強化により、海外市場開拓と拡大を図り、スポーツ分野は健康志向に対応した“高透湿防水フィルム”等の開発・製造による世界市場の拡大に努めました。また、リビング分野・自動車内装材分野では、世界初の抗アレル物質加工素材等の開発・市場開拓に努め着実に事業拡大を図ってまいりました。

以上の施策を実行した結果、当連結会計年度の売上高は37,589百万円（前期比13.1%増）、経常利益1,651百万円、当期純利益926百万円となりました。

近未来を展望、小松ブランドの国際的浸透をも重要課題として捉え、当社独自の技術を軸に積極的な海外出展を行います。

### ■ 繊維事業

ファッション分野では、近未来のグローバル展開による成長を展望し、小松ブランドの国際的浸透と輸出拡大を重要課題として捉え、ブルミエールヴィジョン（仏）、ミラノ展（伊）やインターテキスタイル上海（中）など国際規模の海外展に、「第2世代・ビンテージ織意」等の当社独自ファブリックを積極的に出展いたしました。この出展を足場にして、欧米及び中国市場を中心に積極的に差別化技術の訴求とコーポレート・ブランド及びファブリック・ブランドの定着を図り、市場拡大に努め順調な成果を収めました。また中東向け短繊維素材は、新投入の化合繊維ハイ・ブリッド素材及びラグジュアリー・カジュアル市場の拡大に対応した感性素材が好調に推移いたしました。国内市場においては、海外で高く評価されている当社の感性素材の拡販に加え、新規に投入したアパレルとの一体化システム「染料役者染め」の展開も加わり、順調に推移いたしました。

スポーツ分野では、透湿防水フィルムの立体ラミネーション技術「OutDry」や“多孔型透湿防水素材”を世界最大のスポーツ・アウトドア展示会であるイスボ展（独）に出展するなど、当社グループが得意とする機能性素材の内外への拡販に努め、業績を拡大いたしました。

リビング分野では、定番の無地や捺染は国際競合が激化し売上・収益面共に不振が続きましたが、“抗菌・制菌加工”や新技

術の抗アレル物質素材「アレルバスター」が短期間に全国的な商品に成長するなど、健康を切り口とした素材は順調に拡大いたしました。

車輦内装材分野では、合繊および人造皮革の内装材の拡大に加え、得意とする薄膜素材「DIMA」を使用したカーシートカバー等の販売増を図り、おおむね順調に事業規模が拡大いたしました。

医療・福祉分野では、補正・矯正用および包材用の機能性ニット素材が確実に市場シェアを伸ばし、売上及び収益面で大きく業績に貢献いたしました。

電材分野では、半導体用手袋や無塵衣、ICカードの普及によるスキミング防止関連フィルム材も順調に推移いたしました。

また、海外事業（中国）も計画通りに業容を拡大いたしております。

以上の結果、当部門の売上高は 36,692 百万円となりました。

### ■ その他事業

物流分野では、物流事業（倉庫、運送）が小規模ながらも着実に成長し、一方、不採算分野の撤退や生産性向上・コストダウンに努めた結果、大きく収益に貢献いたしました。

機械メンテナンス分野では、小松精練エンジニアリングが規模縮小を行ったため、減収となっております。

以上の結果、当部門の売上高は 897 百万円となりました。

常に開拓者精神を持ち、感性とハイテクノロジーの融合による  
独創的繊維素材の開発に努めます。

今後の経済見通しにつきましては、総論としては、米国経済の減速懸念、原油価格の高値持続や為替の動向等、先行き不透明感はあるものの、世界同時好況は持続するものと予測され、また国内景気も総じて設備投資や個人消費の底堅さから緩やかながらも拡大局面が継続すると予測されます。しかし、原材料高騰による川上・川中インフレ、中間財および消費財段階のデフレ基調は避けられないと考えられます。

このような環境を前提に海外を含めた当社グループは、常に開拓者精神を持ち、グループ間協業の密度を高めるとともに、官・学・他企業との戦略的連携（クラスター）によるシナジー効果の発揮にも留意し、感性とハイテクノロジーの融合による強みを生かした独創的繊維素材の開発や用途開発に徹し事業領域の拡大を着実に図っていく所存であります。具体的には、当社が得意とするファッション分野やスポーツ分野だけではなく、車輦内装材、医療・福祉、電材などの分野で新規用途・顧客開拓を推し進めてまいります。さらに、製品事業の拡大においては、「染料役者染め」を中心に据えた独自のアパレル事業の仕組みを形成し本格的な拡大を図るとともに、現在、開発を進める先端のナノ・テクノロジーによる高機能繊維や有機EL関連部材についても早期の事業化を目指すなど、新規事業および先端的技術の開発と市場導入に取り組んでまいります。また、原油価格の高騰に対応した原材料の海外調達や自助努力による製造コスト低減に加え、既に一部事業所

において石油燃料をLNGに転換致しておりますが、今後も温室効果ガス排出量や産業廃棄物の削減など、環境対応も積極的に進めてまいります。

以上により、次期の業績は連結売上高40,000百万円（前期比6.4%）、経常利益2,000百万円（前期比21.1%増）、当期純利益1,150百万円（前期比24.1%増）を予想しております。

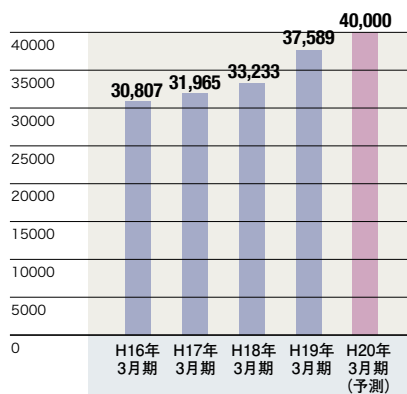


代表取締役社長 中山賢一

# ■ ■ 連結決算主要財務指標

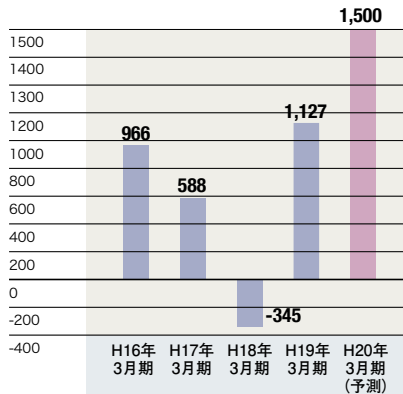
## 売上高

単位：百万円



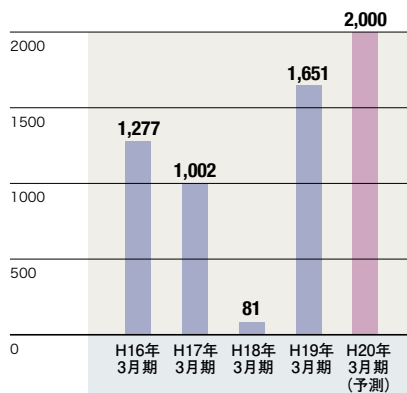
## 営業利益

単位：百万円



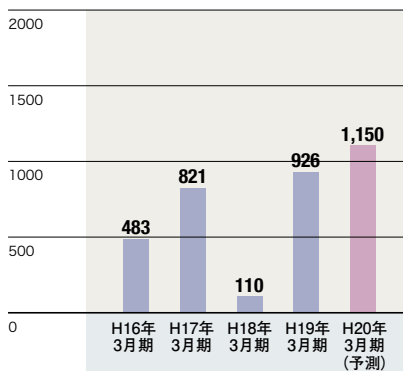
## 経常利益

単位：百万円



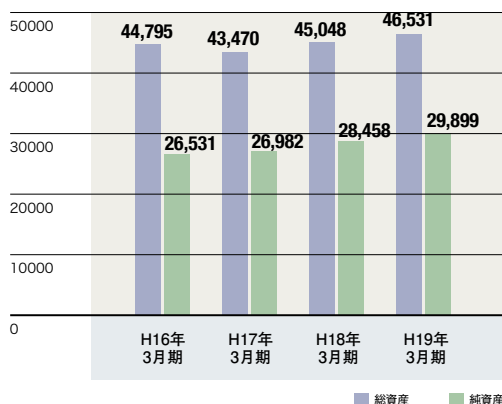
## 当期純利益

単位：百万円



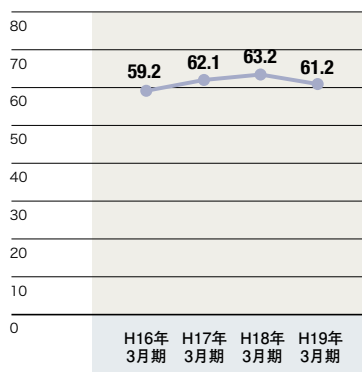
## 総資産・純資産

単位：百万円



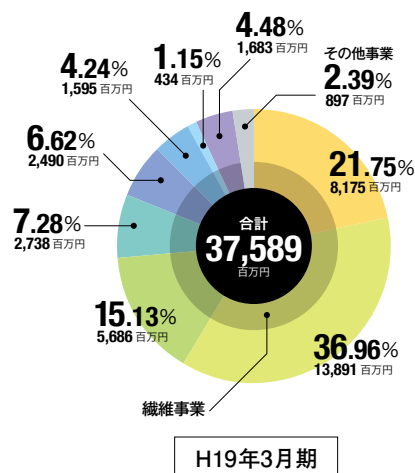
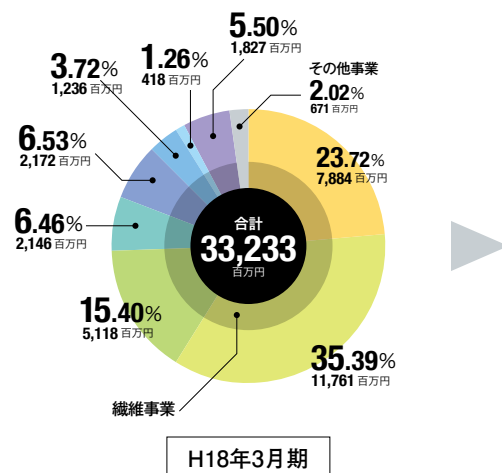
## 自己資本比率

単位：百万円



## 分野別売上高

■ スポーツ ■ ファッション ■ リビング ■ 車両 ■ 生活資材 ■ 医療・福祉 ■ 電材 ■ その他



## 連結貸借対照表の要旨

平成19年3月31日現在

### 資産の部

| 科 目        | 金 額    |
|------------|--------|
| ■ 流動資産     | 25,079 |
| 現金及び預金     | 6,742  |
| 受取手形及び売掛金  | 10,109 |
| 有価証券       | 3,605  |
| たな卸資産      | 4,122  |
| 繰延税金資産     | 310    |
| その他        | 201    |
| 貸倒引当金      | △13    |
| ■ 固定資産     | 21,452 |
| [有形固定資産]   | 9,835  |
| 建物及び構築物    | 3,423  |
| 機械装置及び運搬具  | 4,159  |
| 土地         | 1,911  |
| 建設仮勘定      | 83     |
| その他        | 258    |
| [無形固定資産]   | 318    |
| ソフトウェア     | 162    |
| その他        | 156    |
| [投資その他の資産] | 11,297 |
| 投資有価証券     | 10,074 |
| 差入保証金      | 119    |
| 繰延税金資産     | 968    |
| その他        | 135    |
| 資産合計       | 46,531 |

### 負債の部

単位：百万円

| 科 目       | 金 額    |
|-----------|--------|
| ■ 流動負債    | 11,170 |
| 支払手形及び買掛金 | 8,250  |
| 短期借入金     | 399    |
| 未払法人税等    | 421    |
| 未払費用      | 452    |
| 賞与引当金     | 582    |
| その他       | 1,064  |
| ■ 固定負債    | 5,461  |
| 退職給付引当金   | 5,033  |
| 役員退職慰労引当金 | 401    |
| その他       | 25     |
| 負債合計      | 16,632 |

### 純資産の部

| 科 目          | 金 額    |
|--------------|--------|
| ■ 株主資本       | 26,994 |
| 資本金          | 4,680  |
| 資本剰余金        | 4,720  |
| 利益剰余金        | 17,785 |
| 自己株式         | △192   |
| ■ 評価・換算差額等   | 1,484  |
| その他有価証券評価差額金 | 1,432  |
| 為替換算調整勘定     | 52     |
| ■ 少数株主持分     | 1,420  |
| 純資産合計        | 29,899 |
| 負債・純資産合計     | 46,531 |

## 連結損益計算書の要旨

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

単位：百万円

| 科 目           | 金 額    |
|---------------|--------|
| ■ 売上高         | 37,589 |
| 売上原価          | 31,911 |
| 売上総利益         | 5,677  |
| 販売費及び一般管理費    | 4,550  |
| ■ 営業利益        | 1,127  |
| 営業外収益         | 542    |
| 受取利息及び配当金     | 111    |
| その他           | 430    |
| 営業外費用         | 18     |
| 支払利息          | 2      |
| その他           | 16     |
| ■ 経常利益        | 1,651  |
| 特別利益          | 73     |
| 役員退職慰労引当金戻入額  | 70     |
| その他           | 2      |
| 特別損失          | 91     |
| 固定資産除却損       | 74     |
| その他           | 17     |
| ■ 税金等調整前当期純利益 | 1,633  |
| 法人税、住民税及び事業税  | 592    |
| 法人税等調整額       | 198    |
| 少数株主損失        | 84     |
| ■ 当期純利益       | 926    |

連結株主資本変動計算書の要旨

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

単位：百万円

|                               | 株主資本  |       |        |      |        | 評価・換算差額等         |              |                | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------|-------|--------|------|--------|------------------|--------------|----------------|--------|--------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |        |
| 平成 18 年 3 月 31 日残高            | 4,680 | 4,720 | 17,286 | △181 | 26,506 | 1,956            | △4           | 1,952          | 1,411  | 29,870 |
| 連結会計年度中の変動額                   |       |       |        |      |        |                  |              |                |        |        |
| 剰余金の配当                        |       |       | △427   |      | △427   |                  |              |                |        | △427   |
| 当期純利益                         |       |       | 926    |      | 926    |                  |              |                |        | 926    |
| 自己株式の取得                       |       |       |        | △10  | △10    |                  |              |                |        | △10    |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額（純額） |       |       |        |      |        | △524             | 57           | △467           | 8      | △459   |
| 連結会計年度中の変動額合計                 |       |       | 499    | △10  | 488    | △524             | 57           | △467           | 8      | 29     |
| 平成 19 年 3 月 31 日残高            | 4,680 | 4,720 | 17,785 | △192 | 26,994 | 1,432            | 52           | 1,484          | 1,420  | 29,899 |

キャッシュ・フロー計算書の要旨

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

単位：百万円

| 科 目                | 金 額    |
|--------------------|--------|
| ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,334  |
| 税金等調整前当期純利益        | 1,633  |
| 減価償却費              | 1,413  |
| 引当金の増減額（減少：△）      | △444   |
| その他                | △267   |
| ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー | △108   |
| 固定資産の取得による支出       | △1,008 |
| 固定資産の売却による収入       | 53     |
| 有価証券の取得・売却（取得：△）   | 1,019  |
| 投資有価証券の取得・売却（取得：△） | △414   |
| その他                | 241    |

| 科 目                      | 金 額   |
|--------------------------|-------|
| ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー       | △ 228 |
| 短期借入金の純増減額（減少：△）         | 209   |
| 配当金の支払額                  | △427  |
| その他                      | △10   |
| ■ 現金及び現金同等物に係る換算差額       | 5     |
| ■ 現金及び現金同等物の増加額          | 2,002 |
| ■ 現金及び現金同等物期首残高          | 5,312 |
| ■ 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の影響額 | △ 14  |
| ■ 現金及び現金同等物期末残高          | 7,301 |

## 貸借対照表の要旨

平成19年3月31日現在

### 資産の部

| 科 目        | 金 額    |
|------------|--------|
| ■ 流動資産     | 23,387 |
| 現金及び預金     | 5,745  |
| 受取手形及び売掛金  | 9,090  |
| 有価証券       | 3,605  |
| たな卸資産      | 3,393  |
| 繰延税金資産     | 286    |
| その他        | 1,273  |
| 貸倒引当金      | △6     |
| ■ 固定資産     | 18,931 |
| [有形固定資産]   | 6,239  |
| 建物及び構築物    | 2,073  |
| 機械装置及び運搬具  | 2,261  |
| 土地         | 1,620  |
| 建設仮勘定      | 82     |
| その他        | 200    |
| [無形固定資産]   | 143    |
| ソフトウェア     | 120    |
| その他        | 23     |
| [投資その他の資産] | 12,548 |
| 投資有価証券     | 8,078  |
| 関係会社株式     | 3,367  |
| 差入保証金      | 102    |
| 繰延税金資産     | 866    |
| その他        | 133    |
| 資産合計       | 42,318 |

### 負債の部

単位：百万円

| 科 目       | 金 額    |
|-----------|--------|
| ■ 流動負債    | 9,442  |
| 支払手形及び買掛金 | 7,286  |
| 未払法人税等    | 375    |
| 未払費用      | 330    |
| 賞与引当金     | 537    |
| その他       | 913    |
| ■ 固定負債    | 5,270  |
| 退職給付引当金   | 4,850  |
| 役員退職慰労引当金 | 401    |
| その他       | 18     |
| 負債合計      | 14,712 |

### 純資産の部

| 科 目          | 金 額    |
|--------------|--------|
| ■ 株主資本       | 26,178 |
| 資本金          | 4,680  |
| 資本剰余金        | 4,720  |
| 利益剰余金        | 16,969 |
| 自己株式         | △192   |
| ■ 評価・換算差額等   | 1,427  |
| その他有価証券評価差額金 | 1,427  |
| 純資産合計        | 27,605 |
| 負債・純資産合計     | 42,318 |

## 損益計算書の要旨

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

単位：百万円

| 科 目          | 金 額    |
|--------------|--------|
| ■ 売上高        | 30,756 |
| 売上原価         | 25,416 |
| 売上総利益        | 5,340  |
| 販売費及び一般管理費   | 4,233  |
| ■ 営業利益       | 1,107  |
| 営業外収益        | 455    |
| 受取利息及び配当金    | 188    |
| その他          | 267    |
| 営業外費用        | 6      |
| 支払利息         | 0      |
| その他          | 6      |
| ■ 経常利益       | 1,556  |
| 特別利益         | 65     |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 62     |
| その他          | 3      |
| 特別損失         | 77     |
| 固定資産除却損      | 62     |
| その他          | 14     |
| ■ 税引前当期純利益   | 1,545  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 535    |
| 法人税等調整額      | 196    |
| ■ 当期純利益      | 813    |

## 株主資本変動計算書の要旨

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

単位：百万円

|                             | 株主資本  |       |        |      |        | 評価・換算差額等         | 純資産合計  |
|-----------------------------|-------|-------|--------|------|--------|------------------|--------|
|                             | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 |        |
| 平成 18 年 3 月 31 日残高          | 4,680 | 4,720 | 16,583 | △181 | 25,803 | 1,951            | 27,755 |
| 事業年度中の変動額                   |       |       |        |      |        |                  |        |
| 剰余金の配当                      |       |       | △427   |      | △427   |                  | △427   |
| 当期純利益                       |       |       | 813    |      | 813    |                  | 813    |
| 自己株式の取得                     |       |       |        | △10  | △10    |                  | △10    |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額（純額） |       |       |        |      |        | △524             | △524   |
| 事業年度中の変動額合計                 |       |       | 386    | △10  | 375    | △524             | △149   |
| 平成 19 年 3 月 31 日残高          | 4,680 | 4,720 | 16,969 | △192 | 26,178 | 1,427            | 27,605 |

## 役員及び株式情報

### 役員・執行役員

平成19年6月28日現在

| 役 職        | 名 前   |
|------------|-------|
| 代表取締役会長兼社長 | 中山 賢一 |
| 取締役専務執行役員  | 蓮本 英信 |
| 取締役専務執行役員  | 中田 清英 |
| 取締役専務執行役員  | 高木 泰治 |
| 取締役常務執行役員  | 石倉 幸雄 |
| 取締役上席執行役員  | 池田 哲夫 |
| 取締役執行役員    | 山竹 俊樹 |
| 取締役執行役員    | 橋爪 諭  |
| 取締役（社外取締役） | 橋本 和司 |
| 取締役（社外取締役） | 浅葉 修  |
| 取締役（社外取締役） | 尾川 勝也 |
| 常勤監査役      | 本谷 佑久 |
| 常勤監査役      | 竹内 和也 |
| 監査役（社外監査役） | 香川 裕行 |
| 監査役（社外監査役） | 割出 雄一 |
| 上席執行役員     | 中村 正一 |
| 執行役員       | 奥谷 晃宏 |
| 執行役員       | 折本 忠  |
| 執行役員       | 階 廣孝  |
| 執行役員       | 山本真一郎 |

### 発行済み株式数・株主数

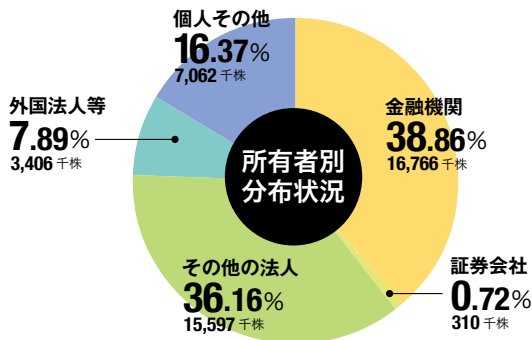
発行済み株式数 ● **43,140,999 株**

株主数 ● **3,286 名**

### 大株主

| 株主名                                  | 持株数      | 持株比率  |
|--------------------------------------|----------|-------|
| 東レ株式会社                               | 2,649 千株 | 6.14% |
| 株式会社北國銀行                             | 2,113 千株 | 4.89% |
| 第一生命保険相互会社                           | 1,550 千株 | 3.59% |
| 日本生命保険相互会社                           | 1,467 千株 | 3.40% |
| 共栄火災海上保険株式会社                         | 1,381 千株 | 3.20% |
| クレディ スイス ユーロ ビービー クライアント エスエフビー バイエル | 1,369 千株 | 3.17% |
| 三菱商事株式会社                             | 1,250 千株 | 2.89% |
| 住友信託銀行株式会社                           | 1,230 千株 | 2.85% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）              | 1,180 千株 | 2.73% |
| 小松精練松栄会                              | 1,109 千株 | 2.57% |

### 所有者別分布状況



## CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量を年間8千トン削減

### 小松精練「美川LNGサテライト」

当社美川工場と関連会社の（株）ケイズテックは今年4月から、白山市に共同で建設した「美川LNG（液化天然ガス）サテライト」を稼働させ、脱石油燃料によるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出量の削減を本格化させました。

これまで美川工場とケイズテックでは、重油やLPG（液化石油ガス）といった石油燃料を使用していましたが、今回、LNGへの燃料転換を行うことで、両工場から排出されるCO<sub>2</sub>削減量は年間8千トンにもなります。これは対前年度比で約25%の削減量に相当し、小松精練全体でも約6%の削減量になります。

当社は、環境循環型企業を目指す方針

として、1999年4月「小松精練環境管理宣言」を行いました。さらに、05年2月の京都議定書で「08年～12年の間に温室効果ガス6%削減」という目標値が設定されたのを受けて、より厳しい「約8%削減」という高い目標を設定。今後も、地球環境の保護、エネルギー資源の保全に向けた環境活動に取り組んでいく方針です。

#### LNGとは…

LNGはメタンを主成分としているため、重油やLPGといった石油燃料に比べ、燃焼時に発生する窒素酸化物や二酸化炭素の発生量が非常に少ないことから、地球環境保全に役立つクリーンエネルギーとして注目されています



## 小松精練杯能美市小学校チャレンジカップ2006

### 第1回小学校対抗サッカー大会開催

「小松精練杯 能美市小学校チャレンジカップ」の第1回大会が昨年11月5日（日）、能美市辰口町物見山陸上競技場で開かれ、市内全8校の4年から6年の男女148人が出場しました。

試合前に行われた元日本代表によるワンポイントレッスンでは、スピードをテーマとしたゲーム感覚のメリハリある指導に、子供たちの笑いが絶えませんでした。試合は予選リーグ12試合と決勝トーナメント3試合が行われ、子供たちのひたむきなプレーに加えて、保護者や先生

方の懸命に声援が大会を一層、盛り上げました。

当社はさまざまな形で地域貢献活動を行っておりますが、今回は地元小学生の健全な心身の育成と、サッカーを通じてチームワークや目標に対する取り組み姿勢を学ぶ場としてこの大会を企画。事前準備から大会当日の試合の進行や審判など、多くの社員がスタッフとなって支え、初の大会を成功に導きました。

## さらなる事業拡大に向けて専用の新ロゴ導入 染料役者染め

海外の展示会でも高い評価を集めた「染料役者染め」のさらなる事業拡大に向け、ブランドイメージを一新し、専用の新しいロゴを導入しました。この専用ロゴは、当社の匠の染色技術によって生まれたことを表し、かつ made in Japan を印象付けるために、篆書体（てんしょたい）をモチーフにしたデザインとなっています。

当社独自の染色技術によって、製品1点1点に手染め調の味わいと風合いを与

える「染料役者染め」は現在、国内外の多くのアパレルとの商談が進み、導入が拡大しています。専用ロゴの普及により、「染料役者染めで創り出される商品は、ワンランク上の高品質であること」を国内外に向けてアピールし、さらなる事業拡大をはかっていきます。



## 海外の展示会へ積極的に出展

ispo<sup>ミュンヘン</sup>（ミュンヘン）／ プルミエール・ヴィジョン（パリ）

当社は今年2月4日から3日間、ドイツ・ミュンヘンで開催された世界最大のスポーツ用品とアパレルの国際見本市「ispo」に初出展を果たしました。会場では当社が得意とするスポーツとファッションを融合させた機能性素材「USUTAMOK（ウスタモク）」を中心に訴求し、また立体ラミネーションシステム「Out Dry」によって、高いレベルの防水を可能にしたシューズやグローブの展示も行いました。

一方、2月20日から4日間、フランス・パリのノール見本市会場で開催されたプルミエール・ヴィジョン（PV）に当社は9

回目の出展を行い、来場社数、サンプルリクエスト数ともに過去最高を記録しました。今回は新しい取組みとして、当社が中心となって進める産地企業集団「チームホクリク」で開発した金箔入りの軽量薄膜素材や、牛首袖に特殊加工を施したカバンなどを紹介。日本の伝統文化とハイテク技術が融合された素材を見たバイヤーたちは、新鮮な驚きを感じたようです。

当社は今後も海外展示会への出展を積極的にを行い、海外市場拡大に努めていきます。



## 次世代ディスプレイや 照明技術に貢献 有機EL封止部材

当社は、北陸先端科学技術大学院大学との共同で有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）素子を覆う保護膜の研究開発を行っており、このほど、従来のパネルの厚さを半分にする画期的な封止部材を完成させました。

有機ELは、次世代のディスプレイや照明などの用途で、今後、市場の拡大が有望視されています。しかし、有機EL用蛍光色素は水分を吸収すると分解して発光しなくなるという問題点があるため、これまではガラスキャップで色素を覆わざるを得ませんでした。

当社は、これまで培った薄膜製造技術に応用し、水分を吸収する機能を持った有機EL素子を覆う新しい封止部材の研究を同大学と共同で進めてきました。新技術の確立によって、有機ELパネルの厚さは従来の半分、製造コストも従来の5分の1に抑えられることを可能にしました。

これを受けて当社は、有機EL封止部材の製造ラインを新たに増設・稼働させ、今年6月から本格的にサンプル供給を開始するとともに、今後さらに有機EL製品の実用化に向けた応用研究を進めていきます。

# 小松精練の

## 環境配慮型

# 加工素材ブランド

# 「HOKUTO」

素材の安全性と、地球環境の保護・保全に向けて開発された素材群の総称です。

モットーは

▼人が安全な素材に囲まれた生活環境づくり  
▼星空が綺麗に見える地球環境づくり



イタリア生まれ、  
世界特許を用いて作られた  
ファブリック&靴ブランド

アウトドライ

# 「OutDry」

抜群のフィット感&軽さが好評のアウトドライシューズ。取り扱い店舗に限りがありますので、店頭で“アウトドライの靴”とお尋ねください。

# 染料役者染め

「この技術」注目！

SENNRYO YAKUSHIYA SOMÉ

小松精練独自の染色技術により、製品一点一点に手染め調の味わいと、風合いを与える新世代製品染めのことです。

まだある！  
小松精練の  
多機能素材群

「におい」に強い

### ◎ バイオガードCG-X

足の不快臭の原因になっているイソ吉草酸と、汗などに含まれるアンモニアに対しても優れた消臭効果を示す素材。靴の中敷などに採用されています。

### ◎ ホトフレッシュ

タバコやペット、生活臭などの臭いを光のエネルギーで分解・消臭・着臭防止。カーテンなどに採用されている、小松精練オリジナルの光触媒加工素材です。

ユニフォームに最適

### ◎ リップガード

優れた撥油性と汚れ除去性を兼ね備え、しかも効果は繰り返し洗濯にも耐えられる耐久性がある素材です。食品加工関係や飲食店などのユニフォームに最適の機能素材です。

各種素材および製法等の  
お問い合わせは下記まで。

今、この素材たちに注目です。



# 小松精練株式会社

〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地 TEL.0761-55-1111 (大代表) FAX.0761-55-8090  
URL <http://www.komatsuseiren.co.jp/> E-mail [office@komatsuseiren.co.jp](mailto:office@komatsuseiren.co.jp)

**花粉症**  
シーズン  
本番到来

衣類の素材によって  
こんなに助かる

アレルギー物質と闘う画期的な素材  
「アレルバスター」  
アレルバスター機能に、さらに花粉を付きにくくする  
花粉付着  
防止機能  
を搭載した衣料用  
ハイテク素材

「アレルビートBR」

ナノテクノロジーにより、効果の持続性と耐久性をアップさせた  
アレルギー物質と闘う画期的な素材  
「アレルバスター」

積水化学工業が開発したアレルギーの原因である「アレルギー」に効果的な「抗アレルギー物質剤」を使用。日本アトピー協会からの推奨品マークも取得済み。

運動に  
最適な春に！

サウナスーツは独自の加工製法によって作られた  
高機能素材で決定

発汗促進性・保温性・制菌性・伸縮性・撥水性を兼ね備えており、サウナスーツに最適な高機能素材です。

「ESTE・DIM・Ag」

エステディマAg

## 会社の概況

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 商 号     | 小松精練株式会社                             |
| 設立年月日   | 昭和18年10月8日                           |
| 資 本 金   | 46億8,042万円                           |
| 本 社     | 〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地             |
| 本 社 工 場 | 同 上                                  |
| 美 川 工 場 | 石川県白山市鹿島町1号7番地 1                     |
| 大阪営業所   | 大阪市中央区本町 2丁目 5番7号（大阪丸紅ビル 4階）         |
| 東京営業所   | 東京都中央区銀座 3丁目 9番 7号（トレランス銀座ビルディング 8階） |
| 北陸営業所   | 石川県能美市浜町ヌ167番地（小松精練株式会社 本社 2 階）      |
| 上海事務所   | 上海市延安西路2200号（上海国際貿易センター1913号）        |

## 株主メモ

|          |                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決算期      | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                                                                                                       |
| 定時株主総会   | 毎年6月開催                                                                                                                                                                                                                                  |
| 株主名簿管理人  | 大阪市中央区北浜4丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社                                                                                                                                                                                                          |
| 同事務取扱場所  | 大阪市中央区北浜4丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                                                                                                    |
| 郵便物送付先   | 〒183－8701<br>東京都府中市日鋼町1番10<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                                                                                          |
| 電話照会先    | 住所変更等用紙のご請求／0120-175-417<br>その他のご照会           ／0120-176-417                                                                                                                                                                             |
| URL      | <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>                                                                                     |
| 同取次所     | 住友信託銀行株式会社 全国各支店                                                                                                                                                                                                                        |
| 1単元の株式の数 | 1,000株                                                                                                                                                                                                                                  |
| 公告の方法    | 電子公告の方法により行います。<br><a href="http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html">http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html</a><br>上記ホームページの「電子公告」をクリックして下さい。<br>ただし、電子公告によることができない事故<br>その他やむを得ない事由が生じた場合は、<br>日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 上場証券取引所  | 東京証券取引所 市場第1部                                                                                                                                                                                                                           |



小松精練株式会社

[www.komatsuseiren.co.jp/](http://www.komatsuseiren.co.jp/)